

URL <http://www.royal-holdings.co.jp/>

平成20年12月期 第3四半期決算 前年同期比較資料

平成20年10月31日

ロイヤルホールディングス株式会社（証券コード:8179）

ROYAL

目次

Fine food is our business for
the people hospitality cleanliness

ROYAL

	頁
平成20年12月期 第3四半期決算の概況	3
実績報告	
* 平成20年12月期 第3四半期決算	
連結業績	4
セグメント別 売上高・営業利益	
全体	5
外食事業	6
食品事業	7
機内食事業	8
ホテル事業	9

《注意事項》

1. 本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。
2. 本資料に記載している四半期純利益には、四半期純損失の場合に▲で表示しております。

本資料に関する問い合わせ先：
ロイヤルホールディングス株式会社 財務部
電話：03-5707-8873 藤岡 / 鹿又(かのまた)

- ・ 全体
 - 景況感の悪化で消費意欲が減退した影響や昨年実施した組織再編の影響あり
 - ・ ホテル事業は順調に増収、食品事業子会社の非連結化が影響し連結売上高は減少
 - ・ 消費意欲減退の影響を受けた外食事業、積極出店を進めたホテル事業を中心に減益

【以下のセグメント概況では外部売上高および営業利益についての説明を記載しております。】

- ・ 外食事業
 - M&A効果はあったが既存店の来客数が減少したことなどにより減収(▲1, 192百万円)
既存店の収益力が低下したことなどにより減益(▲1, 680百万円)
 - ・ ロイヤルホスト事業は、減収(▲1, 818百万円)、減益(▲559百万円)
 - ・ その他外食事業は、減収(▲681百万円)、減益(▲624百万円)
 - ・ M&A効果による増収効果あり(+1, 307百万円)
- ・ 食品事業
 - 既存事業は増収であったが、平成19年第4四半期より子会社1社を非連結化した影響を受け減収(▲3, 678百万円)、減益(▲357百万円)
 - ・ 組織再編で食品事業子会社を連結対象外とし、減収(▲3, 899百万円)、減益(▲260百万円)効果あり
 - ・ その他の食品事業は外食チェーン向け売上伸張等により増収(+221百万円)、減益(▲97百万円)
- ・ 機内食事業
 - 経営環境は厳しいが高い競争力を維持したこととM&A効果により増収(+213百万円)
 - 原材料価格の高騰と人件費の上昇等により減益(▲65百万円)
- ・ ホテル事業
 - 平成19年以降開業したホテルが貢献し増収(+1, 749百万円)
 - 開業費用及び補修費用等を積極的に投下した影響により減益(▲518百万円)

景況感の悪化で消費意欲が減退した影響や昨年実施した組織再編の影響あり

【百万円】

	平成20年 第3四半期	平成19年 第3四半期	前年同期比較
売上高	90,222	93,131	▲ 2,909 (▲ 3.1%)
営業利益	1,299	3,898	▲ 2,599 (▲ 66.7%)
経常利益	1,439	4,199	▲ 2,760 (▲ 65.7%)
四半期純利益	▲ 200	1,501	▲ 1,701 (—)

《参考値：売上高・経常利益推移》

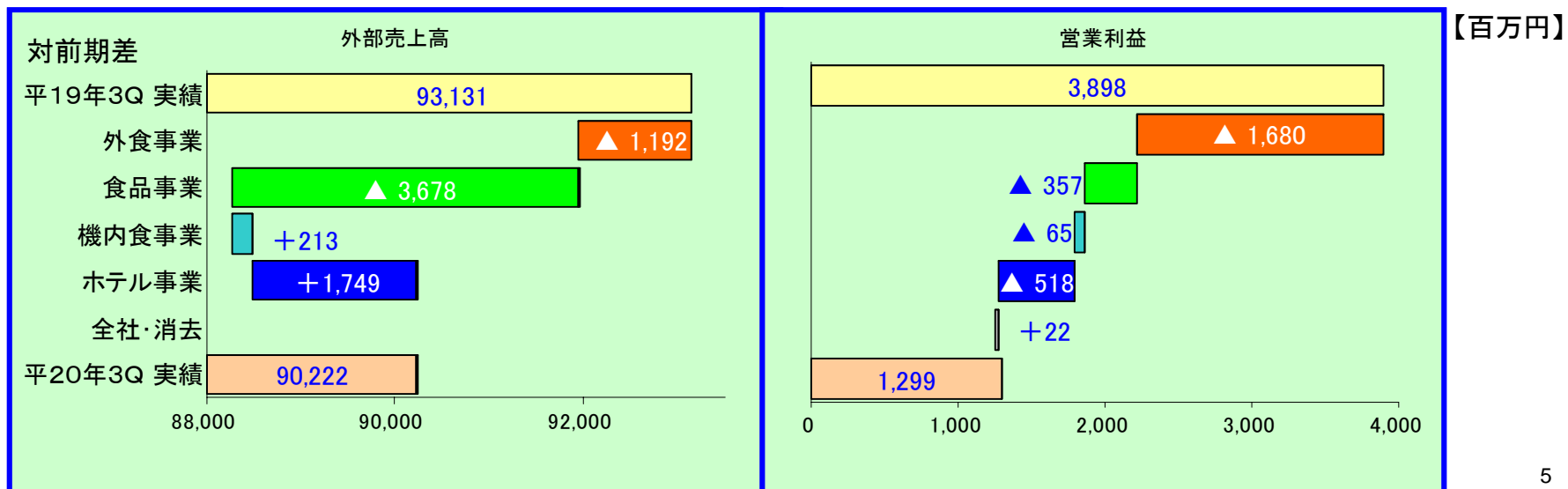
【億円】

	平成16年 第3四半期	平成17年 第3四半期	平成18年 第3四半期	平成19年 第3四半期	平成20年 第3四半期
売上高	751.5	762.6	858.4	931.3	902.2
営業利益	43.0	37.8	38.0	39.0	13.0
経常利益	45.6	40.6	41.2	42.0	14.4

ホテル事業は順調に増収、食品事業子会社の非連結化が影響し連結売上高は減少
消費意欲減退の影響を受けた外食事業、積極出店を進めたホテル事業を中心に減益

実績	平成20年第3四半期		平成19年第3四半期		前年同期比較	
	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益
外食事業	74,626	559	75,818	2,239	▲ 1,192	▲ 1,680
食品事業	2,514	161	6,192	518	▲ 3,678	▲ 357
機内食事業	4,931	791	4,718	856	+ 213	▲ 65
ホテル事業	8,149	530	6,400	1,048	+ 1,749	▲ 518
全社・消去	—	▲ 743	—	▲ 765	—	+ 22
合計	90,222	1,299	93,131	3,898	▲ 2,909	▲ 2,599

【百万円】



M&A効果はあったが既存店の来客数が減少したことなどにより減収(▲1,192百万円)
既存店の収益力が低下したことなどにより減益(▲1,680百万円)

【外食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年第3四半期	75,818	2,239	
M&A効果※	+ 1,307	▲ 45	第1四半期分・のれん償却後
ロイヤルホスト事業	▲ 1,818	▲ 559	内訳は下記『ロイヤルホスト事業内訳』参照
その他外食事業	▲ 681	▲ 624	高収益業態を中心に全般的な減収・減益
間接経費	—	▲ 452	新システム稼働費用など
平成20年第3四半期	74,626	559	

※対象会社: セントレスタ(株)平成19年第2四半期より連結化

《 ロイヤルホスト事業内訳 》	外部売上高	営業利益
既存店減収及びその減益分	▲ 1,898	▲ 582
開閉店効果	+ 79	▲ 3
集中購買等改善による購買費用削減	—	+ 214
人件費増	—	▲ 30
店舗経費増	—	▲ 13
その他	—	▲ 145
合計	▲ 1,818	▲ 559

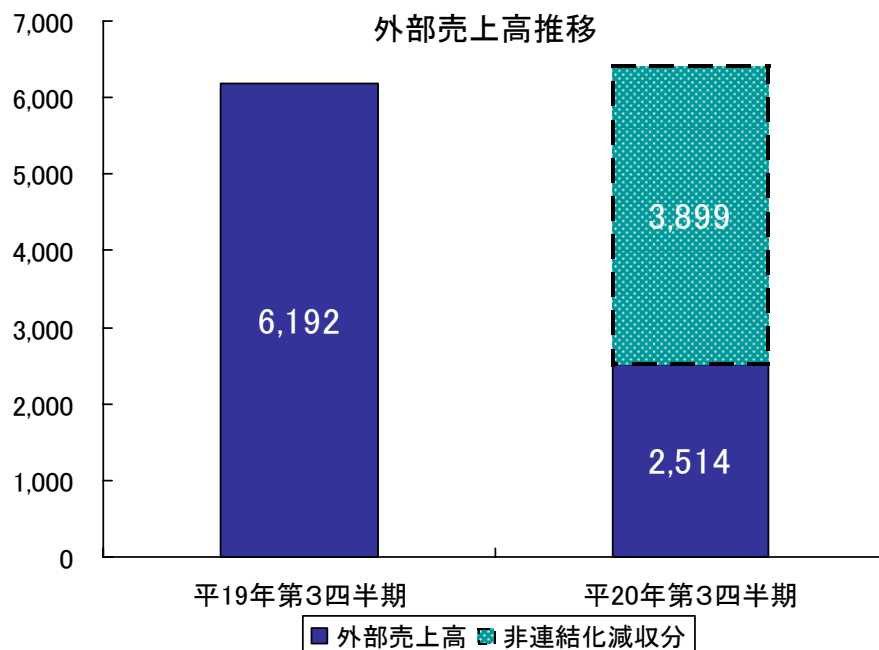
既存事業は増収であったが、平成19年第4四半期より子会社1社を非連結化した影響を受け減収(▲3,678百万円)、減益(▲357百万円)

【食品事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年第3四半期	6,192	518	
連結範囲の変更	▲ 3,899	▲ 260	ロイヤル食品株※非連結化による
変動分	+ 221	▲ 97	外食チェーン向け売上が伸張、一方外食事業悪化に伴う効率性低下
平成20年第3四半期	2,514	161	

【百万円】

※ ロイヤル食品株は、平成19年第4四半期より持分法適用会社となりました。

【億円】



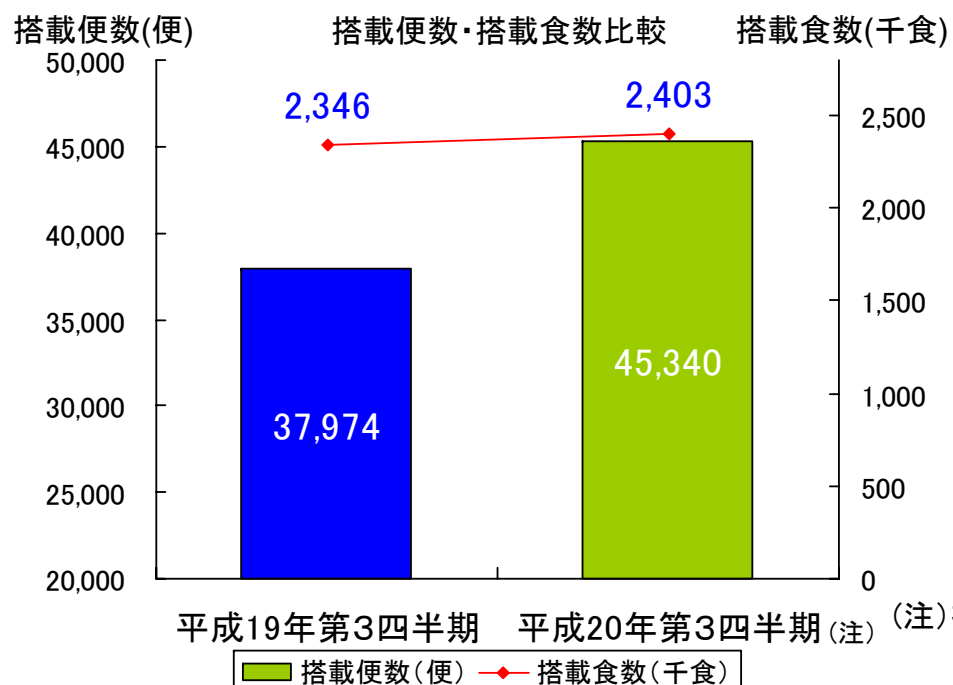
ロイヤルが選んだ【とっておきのおいしさ】をお届けします

<http://www.shoproyal.jp/>

経営環境は厳しいが高い競争力を維持したこととM&A効果により
増収(+213百万円)・減益(▲65百万円)

【百万円】

【機内食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年第3四半期	4,718	856	
M&A効果※	+ 185	▲ 9	第3四半期分・のれん償却後
変動分	+ 28	▲ 56	主に外資系航空会社への搭載数増加による増収 原材料価格の高騰と人件費の上昇等により減益
平成20年第3四半期	4,931	791	



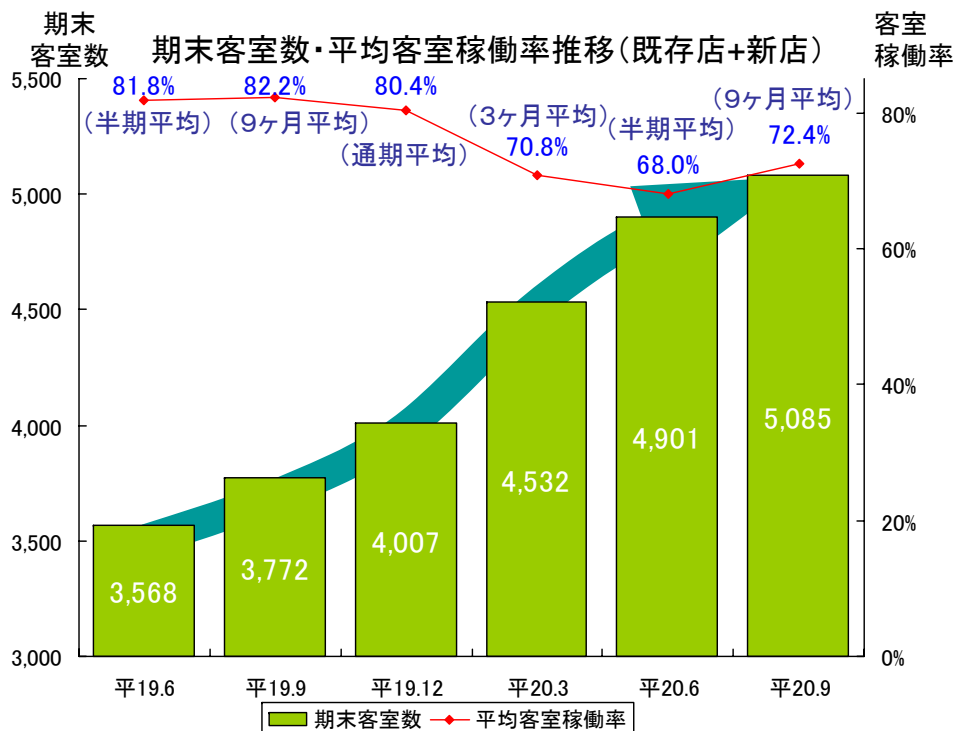
※: 以下の会社は、平成20年第3四半期より、
連結子会社となりました。

商号：福岡ケータリングサービス株式会社
 代表者：代表取締役社長 千島 良樹
 所在地：福岡県福岡市博多区那珂5丁目8番32号
 設立：平成3年3月29日
 事業内容：福岡空港における機内食の調製・搭載
 決算期：3月
 従業員数：126名（平成20年3月31日現在）
 売上高：736百万円（平成20年3月期）
 資本金：385百万円

平成19年第3四半期 平成20年第3四半期 (注) (注)福岡ケータリングサービス(株)の搭載便数5,585便、
搭載食数120千食を含んでおります。

平成19年以降開業したホテルが貢献し増収 (+1,749百万円)
開業費用及び補修費用等を積極的に投下した影響により減益 (▲518百万円)

【ホテル事業】	外部売上高	営業利益	備考 ※
平成19年第3四半期	6,400	1,048	
開店効果等	+ 1,870	▲ 216	平成19年以降の新規開業の影響による 内装のグレードアップなどの費用が増加
既存店増減分	▲ 121	▲ 302	
平成20年第3四半期	8,149	530	



※ 平成20年開業費用、補修費用合計:388百万円

平成19年以降の開業実績

ホテル名	開業日	室数
リッチモンドホテル福岡天神	平成19年4月12日	250
リッチモンドホテル長崎思案橋	平成19年6月27日	209
リッチモンドホテル福島駅前	平成19年9月26日	204
リッチモンドホテル高知	平成19年10月4日	234
リッチモンドホテル山形駅前	平成20年1月8日	220
リッチモンドホテルプレミア武蔵小杉	平成20年3月24日	305
リッチモンドホテル熊本新市街	平成20年4月1日	160
リッチモンドホテル帯広駅前	平成20年6月7日	209
リッチモンドホテルプレミア仙台駅前	平成20年7月1日	184

今後の開業予定:

リッチモンドホテル秋田駅前(198室) 平成21年1月9日